

プラスチック製容器包装を正しく分別しよう!

💡 プラスチック製容器包装の分別フローチャート

Q プラマーク (♻️) は付いていますか?

はい ↓

いいえ →

可燃ごみ (青色の指定袋) で出してください

Q 水で軽くすすいで汚れが落ちますか? ...

はい ↓

いいえ →

プラスチック製容器包装 (白色の指定袋) で出してください …… > ★ 分別のポイント③・④

★ 分別のポイント①

素材で判断するのではなく、プラマーク (♻️) の有無で判断します

プラスチック製容器包装は、
中身の商品を使ったら不要になる

プラスチック製の入れもの (容器) または 包み (包装)



卵パック



CD ケース



お菓子の袋



牛乳パック

→ バケツやハンガーなどのプラスチック製品は、容器でも包装でもないので対象にはなりません。

★ 分別のポイント②

水で軽くすすいでも汚れが落ちないものは可燃ごみとして処理します

中身が残っているもの

水で軽くすすいでも
汚れが落ちないもの

臭いが強く残っているもの



マヨネーズの容器や
歯磨き粉のチューブ等



納豆のパックや
レトルト食品のパウチ等



整髪料や
柔軟剤の容器等

➡️ 可燃ごみ (青色の指定袋) で出してください



こういったものを入れてしまうと、リサイクルする過程で
他のきれいに分別されたプラスチック製容器包装を汚してしまいます。

ひと手間で
もっとリサイクル

納豆のパックやケチャップの容器などは、食器洗いの残り水を活用してしばらく浸しておいたり、中に水を入れて振ったりすると汚れが簡単に落ちます。そのようにひと手間を加えて汚れが落ちたものは可燃ごみではなくプラスチック製容器包装として出すことができ、貴重な資源としてリサイクルされます。

★分別のポイント③

二重袋はやめましょう

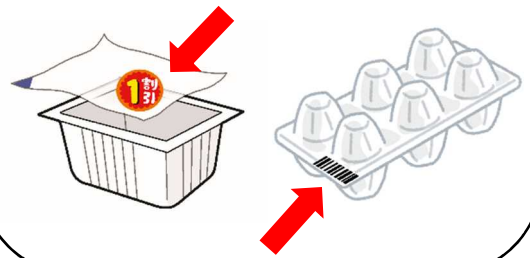
処理施設では、機械で指定袋を破り、手作業で異物や汚れてリサイクルできないものを選別しています。プラスチック製容器包装をレジ袋などに入れてからその袋を指定袋に入れて出すと選別作業の妨げになります。プラスチック製容器包装は、直接指定袋に入れてください。



★分別のポイント④

紙製シールは完全にはがしきらなくても大丈夫

プラスチック製容器包装に付いている値札やバーコードなどの紙製シールは簡単にはがせる場合は、はがしていただき、はがすのが難しい場合はそのまま指定袋に入れていただいて構いません。



危険なものを

混ぜないで。うな。



乾電池・リチウムイオン電池・ライターなど



収集車やリサイクル工場の中で発火したり爆発したりする危険があります。

※使用済みのリチウムイオン電池はお近くの回収協力店へお持ちください。

回収協力店の検索はこちらから（一般社団法人 JBRC）

※乾電池は有害ごみ、使い切ったライターは
金物・陶磁器・ガラス類で排出してください。



カミソリ・注射器など



作業員がケガをしたり、感染症に感染したりする危険があります。

※カミソリなどの刃物は新聞紙などで包んで金物・陶磁器・ガラス類で排出してください。

※在宅医療で発生した注射器や点滴セットは医療機関に返却するか、回収を行っている薬店・薬局に処理を依頼してください。